

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【公開番号】特開2014-131867(P2014-131867A)

【公開日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-038

【出願番号】特願2013-211433(P2013-211433)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 2/05 (2006.01)

B 4 1 J 2/16 (2006.01)

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 3 B

B 4 1 J 3/04 1 0 3 H

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月14日(2016.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

前記記録ヘッドのノズルからのインクの吐出速度は、前記エージング処理の回数に従つて低下し、エージング処理に伴うインク吐出回数が増しても、吐出速度が変化しない飽和状態の吐出速度に達することを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項14

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項14】

前記記録ヘッドのノズルからのインクの吐出速度は、前記エージング処理の回数に従つて低下し、エージング処理に伴うインク吐出回数が増しても、吐出速度が変化しない飽和状態の吐出速度に達することを特徴とする請求項9乃至13のいずれか1項に記載のエージング方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項16

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項16】

液体吐出ヘッドのエージング方法であって、

前記液体吐出ヘッドは、液体を吐出するために利用されるエネルギーを発生する複数の電気熱変換素子が配列される電気熱変換素子の列と、前記電気熱変換素子に対応して形成

される、液体を吐出する複数の吐出口とを備え、

前記電気熱変換素子の列に含まれる少なくとも一部の電気熱変換素子にエージング処理を行い、

前記電気熱変換素子の列の端部側の電気熱変換素子に対するエージング回数は、前記電気熱変換素子の列の中央部側の電気熱変換素子に対するエージング回数より多いことを特徴とするエージング方法。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

さらに本発明を他の側面から見れば、液体吐出ヘッドのエージング方法であって、前記液体吐出ヘッドは、液体を吐出するために利用されるエネルギーを発生する複数の電気熱変換素子が配列される電気熱変換素子の列と、前記電気熱変換素子に対応して形成される、液体を吐出する複数の吐出口とを備え、前記電気熱変換素子の列に含まれる少なくとも一部の電気熱変換素子にエージング処理を行い、前記電気熱変換素子の列の端部側の電気熱変換素子に対するエージング回数は、前記電気熱変換素子の列の中央部側の電気熱変換素子に対するエージング回数より多いことを特徴とするエージング方法を備える。